

まえがき

本報告書は、2011 年度教育学実習「統計的調査実習」(第 1 学期 2 ～ 3 限) で実施した「若者のライフスタイルと意識に関する調査」の結果を取り纏めたものである。

調査の実施方法や対象の選定方法については別に委ねるが、本年度の実習では、新たな試みを導入した。それは、例年どおり授業時間中に社会調査の基本事項についての学習を進める一方で、調査の企画・設計、実査、分析の一連の作業を、部分的に山形大学地域文化教育学部の山本英弘講師担当の「社会調査演習」と連携して行っている点である。

このため、期間中、両大学の受講生が一堂に会した合同授業を 2 回開催した。調査企画段階での「研究課題報告会」(於山形大学) と、分析をひとまず終えた段階での「最終報告会」(於東北大学) である。この新たな試みは、それぞれがおこなう調査の企画と分析結果について、お互いに率直な意見をぶつけ合うことができた点で、非常に有益だったと思っている。連絡・調整のため、単独で授業を進めるときよりも手間が掛かることは確かだが、それを上回るメリットが得られたので、次年度以降も継続するつもりである。

授業と調査の実施にあたっては、実質的な貢献をしてくれた T A の石田賢示君(博士課程後期)、苫米地なつ帆さん(博士課程前期)、濱本真一君(博士課程前期)に感謝する。最終課題の報告書執筆まで、受講生として果たすべき責務を全うしてくれた学部学生諸君の労もねぎらいたい。

また、事前の打ち合わせ段階からたびたび東北大学にも足をお運びいただいた山形大学の山本英弘先生には、心よりお礼申し上げる。そして、山形大学山本ゼミの受講生のみなさんとは、合同授業で議論する機会を共有できたことを、東北大学の授業担当者として嬉しく思っている。

2011 年 3 月

秋永 雄一
三 輪 哲